

がん教育に関する実態調査

- 1 本調査は学校を単位として行っています。平成25年度の状況をお答えください。
- 2 回答は郵送・FAX又はメールにて、下記問い合わせ先まで送付願います。
締め切り：平成25年12月25日(水)
- 3 本調査票は下記ホームページよりダウンロードできます。
URL：https://www.pref.chiba.lg.jp/kenzu/gan/gankyoku.html

◆本調査についてのお問合せ先

千葉県健康福祉部健康づくり支援課がん対策班

電話：043(223)2686 FAX：043(225)0322

E-mail：cantaisaku@mz.pref.chiba.lg.jp

◆回答は回答用紙にご記入ください。

問1 あなたの所属する学校では、「がん」に関する教育を実施していますか。

- ① 保健体育の授業以外で、学習指導要領以外の内容で「がん教育」を実施している
⇒問2にお進みください
- ② 保健体育の授業時間外で、学習指導要領の内容をより分かりやすくするため、独自の教材や説明の工夫をして実施している
⇒問2にお進みください
- ③ 保健体育の授業時間内で、学習指導要領の内容をより分かりやすくするため、説明の工夫をして実施している
⇒問2にお進みください
- ④ 特に実施していない
⇒問3にお進みください

問2 がん教育を実施している学校にお聞きします。

【1】 教育の内容はどのようなものですか。(複数回答可)

- ① 日本人の一生のうち、がんになる確率は2人に1人である。【がんの現状】
- ② 「がん」は日本人の死亡原因の第1位である。【がんの現状】
- ③ がん発生のしくみ(細胞の設計ミスによるがんは、毎日体のどこかで発生しているなど)。
- ④ たばこは肺がん以外にも、様々ながんになる危険がある。【がんの予防】
- ⑤ 自分が吸うだけでなく、他人のたばこの煙でもがんになる危険は高くなる。【がんの予防】
- ⑥ がんは生活習慣に気をつけることで、ある程度予防できる。【がんの予防】
- ⑦ がん検診を受けて早い段階で見つけることで治る可能性が高くなる。【がん検診の重要性】
- ⑧ がんの治療には、手術のほかに抗がん剤や放射線療法の治療がある。【がん治療の現状】
- ⑨ がん患者の体験を聞き、自分や周りの人の「いのち」について考える。【がんの体験談等】
- ⑩ その他 ()

【2】 がん教育を実施しているのは何年生ですか。(複数回答可)

- ① 1年生
- ② 2年生
- ③ 3年生
- ④ 4年生
- ⑤ 5年生
- ⑥ 6年生

【3】 がん教育を実施する理由は何ですか。(複数回答可)

- ① 子どもたちが興味を持っていたから。
- ② がん体験者の話を聞かせたかったから。
- ③ 子どもたちの健康にとって必要なことだから。
- ④ 授業で実施する内容で教科書にあるから
- ⑤ その他 ()

【4】 がん教育の実施枠はどのようなものですか。(複数回答可)

- ① 体育(保健体育)の授業内
- ② 道徳の授業内
- ③ 総合的な学習の時間内
- ④ 特別活動の時間内
- ⑤ 短学活
- ⑥ その他 ()

【5】 がん教育の講師はどなたですか。(複数回答可)

- ① 学級担任
- ② 保健体育担当教諭
- ③ 養護教諭
- ④ 外部講師(教育関係者)
- ⑤ 外部講師(学校医)
- ⑥ 外部講師(がん専門医)
- ⑦ 外部講師(がん関係の医療従事者)
- ⑧ 外部講師(がん経験者)
- ⑨ その他 ()

【6】 がん教育の実施方法はどのようなものですか。(複数回答可)

- ① 講義のみ
- ② 講義と他の方法
- *他の方法(複数回答可)
 - i) DVD視聴 ii) グループワーク iii) 体験型学習
- ③ その他の方法 ()

【7】 がん教育の教材として、どのようなものを使用していますか。

- ① 体育(保健体育)の教科書を使用している。
- ② 教科書以外の副読本を使用している。
- ③ 教科書と教科書以外の副読本(パンフレット等)を併用している。
- ④ 特に使用していない。

⇒問4にお進みください。

問3 がん教育を実施していない学校にお聞きします。

【1】 がん教育を実施していない理由は何ですか。(複数回答可)

- ① 今の保健体育の授業で充分だから。
- ② 子どもたちの教育に必要なだとは思わないから。
- ③ 教育者側にがんの知識がないから。
- ④ 教えることが多く、時間が不足しているから。
- ⑤ その他 ()

【2】 貴校においてがん教育を実施するとしたら、どのようなことが必要だと思いますか。

【自由記載】

【3】 子どもへがん教育を実施するとしたら、内容としてどのようなことが必要だと思いますか。(複数回答可)

- ① 日本人の一生のうち、がんになる確率は2人に1人である。【がんの現状】
- ② 「がん」は日本人の死亡原因の第1位である。【がんの現状】
- ③ がん発生のしくみ(細胞の設計ミスによるがんは、毎日体のどこかで発生しているなど)。
- ④ たばこは肺がん以外にも、様々ながんになる危険がある。【がんの予防】
- ⑤ 自分が吸うだけでなく、他人のたばこの煙でもがんになる危険は高くなる。【がんの予防】
- ⑥ がんは生活習慣に気をつけることで、ある程度予防できる。【がんの予防】
- ⑦ がん検診を受けて早い段階で見つけることで治る可能性が高くなる。【がん検診の重要性】
- ⑧ がんの治療には、手術のほかに抗がん剤や放射線療法の治療がある。【がん治療の現状】
- ⑨ がん患者の体験を聞き、自分や周りの人の「いのち」について考える。【がんの体験談等】
- ⑩ その他 ()

【4】 がん教育を実施するとしたら、対象者は何年生が適切だと思いますか。(複数回答可)

- ① 1年生
- ② 2年生
- ③ 3年生
- ④ 4年生
- ⑤ 5年生
- ⑥ 6年生

【5】 がん教育をするとしたら、どの実施枠が適切だと思いますか。
(複数回答可)

- ① 体育(保健体育)の授業時間内
- ② 道徳の授業時間内
- ③ 総合的な学習の時間内
- ④ 特別活動の時間内
- ⑤ 短学活
- ⑥ その他 ()

【6】 子どもたちにごがん教育を実施するとしたら、どなたが講師として適切だと思いますか。
(複数回答可)

- ① 学級担任
- ② 保健体育担当教諭
- ③ 養護教諭
- ④ 外部講師(教育関係者)
- ⑤ 外部講師(学校医)
- ⑥ 外部講師(がん専門医)
- ⑦ 外部講師(がん関係の医療従事者)
- ⑧ 外部講師(がん経験者)
- ⑨ その他 ()

【7】 がん教育を実施するとしたら、教材としてどのようなものがあるとよいと思いますか。
(複数回答可)

- ① パワーポイントによる資料
- ② DVD
- ③ リーフレット
- ④ 体験できる模型(乳がん自己触診模型など)
- ⑤ その他 ()

問4 今後千葉県では、がん対策推進計画に基づき、がん教育を推進していく予定ですが、モデル事業を実施することになった場合、実施を希望しますか。

- ① 希望する。
- ② 内容によっては希望する。
- ③ 希望しない。

問5 その他、ご意見等があれば、ご記入をお願いします。
【自由記載】

※ご協力ありがとうございました。